

2021年度コード理解促進月間について

製薬協は、2021年度も11月を製薬協コード・オブ・プラクティス（以下、製薬協コード）の理解促進月間として、取り組んでいくこととしました。2021年度のテーマを「誠実な行動で社会の期待に応えます」と定め、サブタイトルを『今の時代に考える』としました。改めて会員会社が一体となり、製薬協コードの遵守徹底のための社内点検を実施いたします。

誠実な行動で社会の期待に応えます ～今の時代に考える～

製薬協コードでは、「製薬協の会員会社は、革新的で有用性が高くより安全な医薬品の開発を通じて、わが国のみならず世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することを使命としている」と定めています。そのためには、法令遵守にとどまらず、誠実な行動で、研究者、医療関係者、患者団体等のステークホルダーとの相互の信頼関係を構築し、社会からの期待に応えなくてはなりません。

昨今発生した製造管理の不備に端を発した医薬品の安定供給に係る深刻な問題等を真摯に受け止めるとともに、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大がもたらした大きな環境変化やデジタルトランスフォーメーション(DX)の加速等、時代の転換期を迎える中、「製薬企業に対する社会からの期待とは何か」を改めて考え行動する必要があります。

会員各社においては、よりいっそう社会からの信頼が得られるよう、各部門・職場で企業活動の適正化に向けた具体的な項目を独自に設定のうえ、徹底のための点検を実施することとしました。

また、2021年度も点検項目を記載できる「コード理解促進月間」啓発ポスター^[1]と、2020年度好評であったデジタル版ポスター(デスクトップ用壁紙画像)^[2]を作成いたしました。

本年度の「羽ばたく鳥」をモチーフとしたポスターには、社会からの期待に応えるために製薬協として一体感をもって取り組む意味を込めて、すべての会員会社の社名を記載しています。

(コード・コンプライアンス推進委員会 鶴田 詔久)

[1] 2021年度「コード理解促進月間」ポスター



[2] 2021年度「コード理解促進月間」デジタル版ポスター（デスクトップ用壁紙画像）

